SDGs未来安心都市・明石

明石市 市政ガイド2026



対話と共創でつくるもっとやさしいまち明石へ







SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

みんなで一緒にまちをつくる

市は、「SDGs未来安心都市・明石」を目標に掲げ、さまざまな立場の人と「対話」を通して新たな価値を共に創る「共創」によるまちづくりを進めています。

対話と共創でつくる明石のまち

タウンミーティング
市民との対話の場を開催

障害・子育て・高齢者・若者・環境・にぎわいなどさまざまなテーマで開催しています。




タウンミーティング
地域編も13か所で開催

35回開催
参加者
1317人
2026年3月末







ワークショップ
まちづくりや市政の課題を対話

今後のまちづくりについて、市民、事業者、行政などあらゆる関係者と対話を重ねています。

テーマもいろいろ

48回開催
参加者
1426人
2026年3月末

対話を円滑に進める進行役

市民ファシリテーター105人誕生

対話で互いの思いや意見を受け止め、引き出し広げる手法について学んでいます。

職員ファシリテーター研修も
全係長や課長級以上が受講。



“もっと”やさしいまち明石へ

明石市は「市民みんなで、みんなの明石を創る」ために、これまでもタウンミーティングやワークショップで市民のみなさんと対話を重ねてきました。対話によって明らかになったニーズや地域課題に、行政だけでなく、市民、企業、大学、市民団体など多様なみなさんとの共創で取り組んでいます。「あかし共創プラットフォーム」も本格的に動き出し、各施策の展開につながっていきます。これからも市民のみなさんとともに、笑顔あふれるまちづくりを進めていきます。

明石市長 丸谷聡子



明石市長まるちゃんねる

市の取り組みなどを市長が紹介する「明石市長まるちゃんねる」を配信中！

「産・官・学・民」連携して
共に地域課題を解決へ

みんなの声から

市民の声から実現しました



市民の声から生まれた「ひと涼みスポット」ののぼりを企業が制作。共に熱中症予防を啓発。

大塚製薬株式会社



夏場の無料休憩所



あかし共創プラットフォームがスタート！

異なる分野で立場を超えた「つながり」や、同じ「テーマ」に関心を持つ人との対話を重ね、共創によってより良い解決策・新たな価値を創りだしていくことを目指します。



あかし対話と共創ウィーク



ウィークの様子はこちらから


対話と共創のまちづくり首長サミット in あかし

NEW 市民提案助成金を創設

NEW 共創ミーティング



NEW 共創カフェ

新しい人との出会いや仲間づくり、興味のあるテーマについて、「知りあう」・「語りあう」場です。

対話と共創のまちづくり首長サミット共同メッセージ




「地域課題 × ビジネス」について語りあう（第１回の共創カフェ）

さまざまな知見を持った企業や教育機関などと行政が連携して、地域課題の解決のために取り組みを進めていきます。

大学との連携・共創

兵庫県立大学や神戸大学と連携し、子ども、健康福祉、環境などさまざまなテーマで共創を進めています。



資源を再生利用



ペットボトルやプラスチックの再資源化に向け企業や市民と一緒に取り組んでいます。

ライオン株式会社 P10

アサヒ飲料株式会社 P10

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社



廃食用油の再資源化

市内で集めた揚げもの油を持続可能な航空燃料（SAF）へ再資源化させる「AKASHI FRY to FLY Project」をスタート。



AKASHI FRY to FLY Project

CO_2を資源として循環

循環型かつ脱炭素社会の実現に向けて、市内にCO_2を吸収する自動販売機を設置予定。



防犯カメラを搭載し見守り機能も

アサヒ飲料株式会社

明石市 市政ガイド2026　各論 こども

妊娠前から 継続した子育て支援

切れ目のない支援をしています



子どもを望む夫婦の経済的負担の軽減や、多胎児家庭への支援の充実など、子ども・子育て家庭へのサポートをさらに充実。また、支援が必要な子どもを早期に発見し、必要な支援につなげるため、妊娠期から小学生までのステージでさまざまな気づき・寄り添いの機会を設けています。

妊娠前　妊娠　出産　乳幼児　小学生

NEW 不妊治療助成
年齢や回数を制限せず、保険適用外も助成します
※モデル事業として実施（R8年度）

出産・育児のサポート

妊婦全員と面談
タクシー券5000円分プレゼント

産後ケア
宿泊型、デイサービス型、訪問型で心と体をケア　※訪問型は初回無料

すべての妊婦と赤ちゃんに会います

子育て応援ヘルパー
家事・育児ヘルパーの派遣

子育て訪問相談
支援が必要な場合には看護師や保育士などが家庭を訪問

子育て家庭ショートステイ
病気や育児疲れのとき、里親や児童福祉施設などで短期間子どもをお預かり

ショートステイ里親からつながる地域の子育て支援

あかし 里親100% プロジェクト



生まれる前から見守られているんだね



子どもの見守り

NEW 初回の産科受診費用の助成
経済的な理由などの支援が必要な妊婦に助成 ※条件あり

NEW 多胎児家庭への支援の充実
妊婦健診費用の追加、産後ケア訪問やヘルパーによる支援などを充実

新生児の家庭訪問
生後３か月までにすべての子どもの家庭を訪問

ブックスタート・ブックセカンド
４か月児健診時、絵本をプレゼント　３歳６か月児健診時、絵本をプレゼント

おむつ定期便
子育て経験のある見守り支援員が毎月子育て用品をお届け

あかし版こども食堂
子どもたちの身近な場所で開設

受診・面談のきっかけに

気になることがあれば市と連携して対応



子育てまるごとサポート＋（プラス）

すべての子ども・子育て家庭に安心を

全て所得制限はありません！
まるサポ Seven Free
明石独自の7つの無料化

経済的負担が軽減し、安心して子育てができます

所得制限を設けずにすべての子どもたちを対象にサービスを提供しています。

1 医療費 高校３年生まで無料

病院代・薬代も無料です！



2 保育料 第２子以降は無料

きょうだいの年齢、関係なし
市外の施設でもOK



副食費も無料



3 おむつを無料でお届け

選べる赤ちゃん用品
見守りで不安解消



＼選べます／
3000円相当の子育て用品
×
＼計10回／
3か月～1歳の毎月

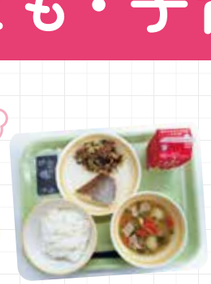
NEW 4 1か月児健康診査費用 6000円助成

市内の医療機関なら完全無料です！



NEW 5 小学校給食が無償に

心のこもった温かい給食



6 中学校給食が無償に

「有機・地産地消給食の日」では、有機農産物や地元の農水産物を使用した給食を提供しています。





7 公共施設の入場料を無料に



＊天文科学館
※R8夏ごろリニューアルオープン
＊文化博物館
＊明石海浜プール
＊親子交流スペース「ハレハレ」

天気も気にせずに遊べます！

NEW 動画公開中 もっと知ってほしいヤングケアラーのこと



ヤングケアラーの相談ダイヤルを設けて子どもや若者が安心して相談できる体制を整えています。

動画はこちらから

医療的ケア児等への支援

医療的なケア（人工呼吸器の管理、たんの吸引など）を必要とする子どもたちや家族が安心して暮らせるように相談支援をしています。

- 相談窓口の開設
- 協議会、交流会の開催
- 保育所や学校との連携強化など

ハンドブックを改訂



地域の気づきの拠点 あかし版こども食堂

子どもたちと地域の人たちが交流できる居場所で、支援が必要な子どものサインにいち早く気づき、関係機関へつなぐなど重要な役割を担っています。

＼歩いて行ける！／
全小学校区で実施、だから安心

「遊び・学び」「地域交流の場」も



こども・若者を応援

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども・若者が生きる力を育み、未来に夢が持てる環境を整えていきます。

こども・若者会議

市内のこども・若者たちが主体となって、未来の明石のまちづくりにつながる「こども・若者計画」を策定しました。
今後も計画の実現に向けて定期的に会議を開催します。

基本理念　みんなが安全・安心で、自分たちの声が尊重され、実現できるまち　あかし

こども・若者計画はこちらから





意見やアイデアを出し合って1年かけて計画を作成！



こども・若者の居場所

多様な学びを応援

学校でも家でもない

こども第三の居場所

さまざまな理由で学校になじめない子どもたちが安心して過ごせる居場所です。一人ひとりの子どもに応じた学習や体験を通じて成長を見守ります。



全小・中学校に

校内フリースペースを設置



居場所サポーターを配置し、学習や生活面をサポートします。

フリースクール利用者へ助成

フリースクールの利用料を一部助成しています。

交流や学習の場に

小中学生・高校生の交流の場として、学習室や音楽室などを無料で利用することができます。

AKASHIユーススペース
あかしユースポート



全市立小・中学校・高等学校の体育館にエアコンを完備



こどもの声から あかしプレーパーク

子どもたちの声から生まれた「あかしプレーパーク」。市民団体などによる自主的な開催をサポートするため、補助金制度を創設します。





プレーリーダーさんも活躍中！





TOPIC　介護の専門知識・技術を学ぶ

市立明石商業高等学校 福祉科

最新の設備を備えた実習棟や、地域ボランティア活動を通じ、福祉のまち明石のリーダーとなる人材を育成します。



特殊浴槽が配置された入浴実習室





誰もが暮らしやすいまちに 障害者

すべての人にやさしいまちづくり

どんどん広がっているよ！

障害のある人もない人も、安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、商業者や地域の団体と一緒に取り組みを進めています。

条例１

「手話言語・障害者コミュニケーション条例」制定

2015年４月施行

手話を言語として認め、点字や音訳なども含め障害のある人とない人の幅広いコミュニケーション手段の促進について定めた条例を全国で初めて制定しました。

手話　要約筆記　点字　音訳　その他の支援

あかし手話チャンネル

市政情報を手話で紹介。毎月、広報あかしの内容などを配信しています。

手話チャンネルはこちらから



ろう者の職員が手話で情報発信

幅広いコミュニケーションを支援



手話

市立小学校の４年生を対象に、耳の聞こえない人の生活や手話を学ぶ「手話体験教室」を実施しています。







点字

点字メニューを置いているお店も増えてきました。

指さしでお店でのやり取りを簡単に

カードにお店でのやり取りがイラストや文字で書いてあり、指さしで会話をサポートします。



書き込みもできます



スマホでも

条例２

障害者配慮条例

合理的配慮の提供を支援する公的助成制度スタート　2016年４月施行

商業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成しています。

対象／商業者や地域の団体など
助成内容／
①点字メニュー・コミュニケーションボードなどの作成（上限５万円）
②折りたたみ式スロープ・筆談ボードなどの購入（上限15万円）
③手すり設置・段差解消などの工事（上限30万円）

400を超えるお店や施設に設置しています！

NEW

市の窓口に電話リレーサービス「手話リンク」を導入

電話リレーサービスの手話通訳オペレーターを介して、市の窓口に手話で電話をかけることができるようになりました。





筆談ボードご利用ください

条例３

あかしインクルーシブ条例

2022年４月施行

年齢・性別・障害・国籍などにかかわらず、すべての人が安心して自分らしく生きられるインクルーシブなまちづくりを実現するために、今後の指針となる条例を制定しました。



補助制度を創設

自治会や商店街などのバリアフリー化に向けた費用を補助

あかしインクルーシブ条例パンフレット

インクルーシブアドバイザー制度

お店や施設などのバリアフリーについて、障害のある人や高齢者などがアドバイザーとして一緒に考えます。



インクルーシブな取り組みを動画で紹介

住み慣れた地域で安心して暮らす 高齢者

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

認知症になっても、安心して暮らし続けることができるよう、「本人の尊厳の確保」「家族負担の軽減」「地域の理解の促進」を３つの柱に、認知症の人と家族を支援するさまざまな取り組みを進めています。

認知症の人と家族の支援



早期に気付く

1. 認知症診断費用を全額無料に

認知症（若年性も含む）診断費用を全額助成します。また、認知症と診断されたらタクシー券（6000 円分）または GPS の基本料金１年間無料のサービスも。

支援につなぐ

2. サポート給付金の支給

認知症と診断を受け、在宅で生活している人にサポート給付金として２万円を支給します。

継続的に支援

3. 認知症手帳の発行
（あかしオレンジ手帳）

支援サービスの紹介や相談窓口を掲載した手帳を発行します。

一冊で必要な情報と記録を



NEW **見守り支援サービスを導入**

民間提案制度

ひとり歩きなどで行方不明になった高齢者の早期発見を目的とした「みまもりあいプロジェクト（緊急連絡ステッカー、捜索配信アプリ）」を導入します。



おじいちゃんがいなくなったわ…探すのを協力して！





緊急連絡ステッカー

明石市独自　地域で支える

オレンジサポーター制度
（認知症サポーター）

認知症と認知症の人を正しく理解し、地域や職場で応援。より専門的に学び地域活動を行うシルバー・ゴールドサポーターも。

オレンジピアサポーター
（認知症の人が活動）

認知症の人同士がつながり、支え合い、当事者自身がより生き生きと暮らすための活動を応援します。

オレンジリングレンジャー
（小学生発案！）

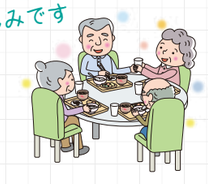


詳しくはこちらから

＼食を通した見守りを／
「みんなの給食」全中学校区で

月１回程度開催し、食事のほかロの健康に関する体操なども行います。運営は地元のボランティア団体などが有償で行っています。

みんなに会うのが楽しみです



補聴器の購入費用の助成

聴力が低下し、生活に支障が生じている高齢者に補聴器の購入費用の一部を助成します。

対　象／医師が必要と認めた65 歳以上の人（所得制限なし）

助成額／上限２万円





補聴器

フレイル予防

ふれあいの里を拠点にフレイルサポーターの養成やフレイルチェック会を開催中。





NEW



大人も子どもも楽しめる明石市のオリジナル体操をやってみよう！



本のまち明石

公立図書館や文化施設、学校図書館、こども夢文庫、ブックスポット、書店など本に関わるすべての人と一緒に共創で本のまちづくりを進めていきます。

本のまちビジョンの２つの柱

本とつながる

いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまち

本からつながる

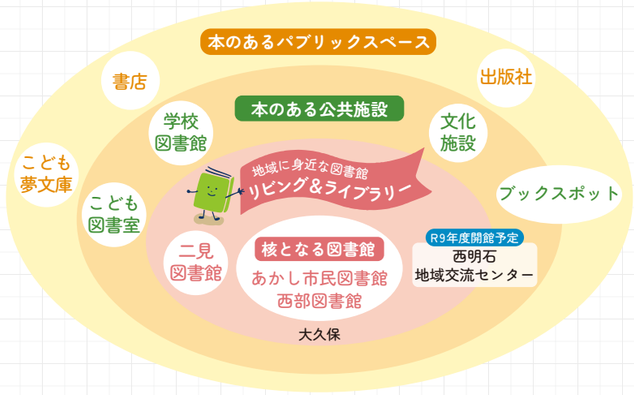


本から人とつながり、知りたいことやりたいことに出会えるまち



「本のまち明石」の具体的な方向性を示す**本のまちビジョン**を策定しました。

共振し、共創が生まれる本のまち



みんなの声から

ワークショップを重ね
市民の声からできました！

二見図書館

地域の居場所、交流の場所も兼ねた
地域に身近な図書館へ



ふたみん



明石ゆかりの作家

2019年芥川賞作家
あかし本のまち大使
上田（うえだ） 岳弘（たかひろ）さん

明石市出身。江井島小学校・江井島中学校・明石西高校卒。2019 年に『ニムロッド』で第 160 回芥川賞を受賞。2022 年、短編「旅のない」で第 46 回川端康成文学賞を受賞。



2026年芥川賞作家
鳥山（とりやま） まことさん

明石市在住の作家・建築士。自ら設計した自宅を明石に建てた経験を元に書いた小説『時の家』で、2026 年に第174 回芥川賞を受賞。



明石えほん大使
たなか しんさん

明石市在住の画家・絵本作家。明石の海の砂を絵の下地に用いるなど、明石を拠点に活動する。文化博物館で開催した展覧会には、１ 万人以上が来場。



マンガとコラムでよくわかるお財布事情

みんなの財政白書あかし

明石市の財政状況や課題について、マンガやイラストで分かりやすく伝える「財政白書」を市ホームページで公開しています。



毎年４月頃に最新の内容に更新

みんなの財政白書あかしはこちらから

ありのままがあたりまえのまちへ

パートナーシップ・ファミリーシップ制度

生活を共にするパートナーとして自治体が認定する「パートナーシップ制度」が全国に広がっています。

明石市の制度の特徴

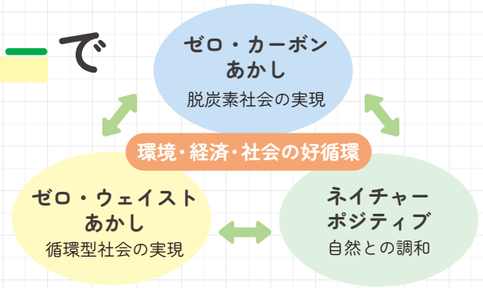
- LGBTQ＋に限らず、男女の事実婚カップルも利用可
- 親や子などの近親者も届出ができる

ソジー
SOGIE
（性的指向、性自認、性表現）への理解を深めていきます



明石のサスティナブルスリーで持続可能な社会へ

「SDGs未来安心都市・明石」を掲げる明石市は、持続可能な環境を次世代に引き継ぐために、地域や企業等と連携しながらパートナーシップによる取り組みを進めています。



ゼロ・カーボンあかし

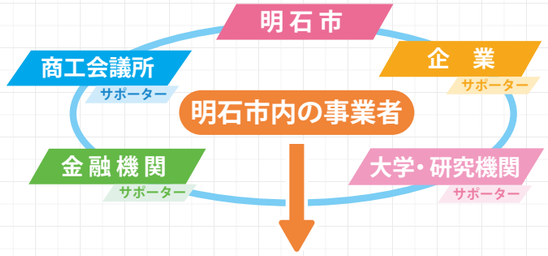
市内の事業者と一緒に進めています

脱炭素経営を産官学連携で支援

あかし脱炭素経営パワーアップ制度では、産官学で構成するさまざまな強みを持ったサポーターが連携し、市内事業者の脱炭素経営を積極的に伴走支援していきます。



キックオフセレモニー（2025年7月）



脱炭素経営に取り組む宣言をした
登録事業者112社（2026年2月末）

＼サポートします！／

- **知る**　研修やセミナーで脱炭素経営の重要性を知る
- **測る**　自社のCO_2排出量を把握する
- **減らす**　設備導入提案、補助金などを活用しCO_2と経営コストを減らす

ゼロ・ウェイストあかし

ごみ減量・再資源化を共創で進めています

循環型社会の実現のため、ゼロ・ウェイストあかしを合言葉に、ごみの減量・再資源化に取り組んでいます。

NEW



もやすごみの単純指定ごみ袋を導入します　2027年3月～

水平リサイクル　ペットボトルの再資源化

使用済みのペットボトルを回収・リサイクル処理し、新たなペットボトルとして再生する「ボトル to ボトル」の取り組みを進めています。



紙ごみ再資源化プロジェクト

若者の声から

あかしリサイクルBOX Taco箱



古紙回収専用のリサイクルBOXを市内２か所に設置。

企業の機密文書の無料回収


機密文書は、溶解処理し、新たな紙に再利用。

ハブラシリサイクル　プラスチックの再資源化

家庭から出る使用済みハブラシを回収し、リサイクル工場で処理後、プラスチック製品に再生します。



市内18か所に回収BOXを設置


遊具用のブロックにリサイクルされました

NEW ネイチャーポジティブの実現に向けて

「水とみどりでつながる あかしネイチャーポジティブ宣言」の方針や「生物多様性あかし戦略 2026」を推進していきます。

豊かな生態系を守り育てる

2026年 宣言を発出



神戸市と「生物多様性を守り育てるための連携・協力に関する協定」を締結

2023年9月

在来の生態系に悪影響を与える
特定外来生物の対策

生物多様性に係る
環境教育および人材育成

里山・里地・里海、河川などに生息する
在来種の保全


神戸市と合同で生物多様性フォーラムを定期的に開催


身近な自然を学ぼう！

市民が自然を体験するネイチャーツアーも開催



特定外来生物の対策

特定外来生物であるアカミミガメ、ナガエツルノゲイトウ、クビアカツヤカミキリによる生態系への被害を防ぐため、市民や学生などの協力のもと、防除対策を実施しています。


ナガエツルノゲイトウの防除

海の豊かさを守り育てる

明石には、タイ・タコ・イカナゴなど豊かな海のめぐみがあります。豊かな海を次世代につないでいくため、魚を育て増やす取り組みを進めています。


稚魚放流


船を使って肥料散布


海のゆりかご

魚の産卵場・隠れ場・えさ場などになるアマモ場の再生を支援


産卵用のたこつぼを投入

在来種の保全

市域に生息する生き物の中で、絶滅の危機にある種について、解説や写真を載せた「明石市レッドリストガイドブック」を作成



ネイチャーポジティブって？

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」とは、自然や生物多様性の損失に歯止めをかけ、環境にとってポジティブ（プラスの状態）にしていくという意味です。

明石市ってどんなまち？

明石市は、東経135度の日本標準時子午線上にあります。明石海峡をはさんで淡路島を眼前に臨むことができ、古から多くの歌が詠まれた風光明媚な歴史あるまちです。



東経135度
子午線

海のまち

自然豊かな
里海・里地・里山



時のまち



プラネタリウム
稼働期間日本一



明石城（明石公園）



源氏物語の舞台

歴史のまち

交通の便がいい

大阪や姫路からも
通勤圏内でベッドタウン

JR明石駅から

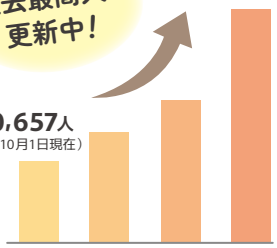
姫路 24分 — 神戸 12分 — 大阪 37分

13年連続人口増

過去最高人口
更新中！

306,536人
（2025年10月1日現在）

290,657人
（2012年10月1日現在）



明石には
ええもんがいっぱい！

明石っ子の
ソウルフード



明石焼（玉子焼）

春と秋
二度の旬を楽しめる



タイ（マダイ）

明石焼にも
タコ飯にも



タコ（マダコ）

味の良さはもちろん
色・ツヤ・香りが絶品



明石ノリ

明石のたからもの



大蔵海岸の朝日



明石公園の桜



秋祭り



実りの田園

夕焼けパンダ



甘くてみずみずしい



清水のいちご

時のわらし
明石の時間を守る
時の妖精



パパたこ
明石の
観光PR隊長



明石市 市政ガイド2026
2026年3月　明石市発行
編集／政策局 広報プロモーション室 広報課

〒673-8686 兵庫県明石市中崎1丁目5番1号 TEL078-918-5001（直通） FAX078-918-5101
kouhou@city.akashi.lg.jp　https://www.city.akashi.lg.jp/

明石市　検索